

連続セミナー

Black Lives Matter 運動から学ぶこと

—多文化共生、サステナビリティについて考えるために—

5月に米国で起こった事件を契機として始まったBlack Lives Matter 運動の広がりや、世界中で、これまで「他者」の問題だったものを、たちまち「私たち」の問題として浮き上がらせている。

本連続セミナーでは、このBLM運動を多角的な視点から考察するとともに、日本を含む世界の諸地域における、エスニシティ、ナショナリズム、植民地主義、差別、移民、同化、ジェノサイド等々、幅広い領域に関わる論点と接合させることで、この運動が、今ここに生きる「私たち」に問いかける「多文化共生とは何か」、「サステナビリティとは何か」といった課題をともに考えていく。

第1回
1st

アメリカ研究から見た BLM運動



講演

荒 このみ 先生

Profile

アメリカ文学・文化研究。博士(文学)。東京外国語大学名誉教授。
著書に『マルコムX 人権への闘い』(岩波新書 2009年)、『歌姫あるいは闘士——ジョセフィン・ベイカー』(講談社 2007年)、『黒人のアメリカ』(ちくま新書 1997年)など。訳書にトニ・モリスン著『「他者」の起源』(集英社新書 2019年)、マーガレット・ミッチェル著『風と共に去りぬ』(岩波文庫全6巻 2015-16年)など。

文学を通して考える

アメリカの黒人とは

2020年10月21日(水)17:40~19:40
Zoomウェビナーでのオンライン開催

- 使用言語: 日本語
 - 参加費: 無料
 - 事前申し込みが必要です。(定員500名。本学学生優先。先着受付順。定員に達した場合参加をお断りさせていただくことがございます。)
 - 参加ご希望の方は、10月14日(水)までに、以下のQRコードを読み取り、参加登録フォームより事前登録をお願いいたします。
本学ホームページからも登録できます。
- URL: http://www.tufs.ac.jp/event/2020/201002_2.html
- 問い合わせ先: BLM-seminar@tufs.ac.jp (連続セミナー担当)



共催: 東京外国語大学
多文化共生研究創生 WG、総合文化研究所

▶ 今後開催予定テーマ

- 運動論から考えるBLM
- グローバリゼーション、アフリカ、BLM
- 『差別を支えてきたもの』はなにか
- 格差と没落 ほか